

## 「ツタヤ図書館」の資料区分を検証する(その3): 多賀城市立図書館の検索・予約システムを中心に

メタデータ	<p>言語: Japanese</p> <p>出版者: 大阪市立大学創造都市研究科情報学専攻</p> <p>公開日: 2024-09-09</p> <p>キーワード (Ja): ツタヤ図書館, カルチュア・コンビニエンス・クラブ, CCC分類, ライフスタイル分類, 多賀城市立図書館, 武雄市図書館, 海老名市立図書館</p> <p>キーワード (En): TSUTAYA Library, Culture Convenience Club Co.Ltd., CCC Classification, Lifestyle Classification, Tagajyo City Library, Takeo City Library, Ebina City Library</p> <p>作成者: 川瀬, 綾子, 森, 美由紀, 北, 克一</p> <p>メールアドレス:</p> <p>所属: 京都精華大学, 立命館大学, 相愛大学</p>
URL	<p><a href="https://ocu-omu.repo.nii.ac.jp/records/2016283">https://ocu-omu.repo.nii.ac.jp/records/2016283</a></p>

## 「ツタヤ図書館」の資料区分を検証する その3 —多賀城市立図書館の検索・予約システムを中心に—

Verify the TSUTAYA Classification, Part3 : Based on Tagajyo City Library OPAC

川瀬綾子<sup>†</sup> 森美由紀<sup>††</sup> 北克一<sup>†††</sup>

KAWASE Ayako<sup>†</sup> MORI Miyuki<sup>††</sup> KITA Katsuichi,<sup>†††</sup>

**要旨**：TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が公立図書館の運営を担い3年が経過した。そして、2016年3月21日には第三の「ツタヤ図書館」となる多賀城市立図書館が開館した。本稿では、先立つ武雄市図書館及び海老名市立図書館のOPACに山積していた問題が多賀城市立図書館では改善されたのかの検証、及び検索・予約システムにおけるジャンル(カテゴリー)区分の資料分類区分の差異を検証し、評価する。

**キーワード**：ツタヤ図書館、カルチュア・コンビニエンス・クラブ、CCC分類、ライフスタイル分類、多賀城市立図書館、武雄市図書館、海老名市立図書館

**Keywords**：TSUTAYA Library, Culture Convenience Club Co.Ltd., CCC Classification, Lifestyle Classification, Tagajyo City Library, Takeo City Library, Ebina City Library

### 1. はじめに 本研究について

TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(増田宗昭代表取締役社長兼CEO;非上場;以下、CCC)が公立図書館の運営を担い3年が経過しようとしている<sup>1</sup>。

2013年4月の佐賀県武雄市の武雄市図書館<sup>2</sup>を皮切りに、2015年10月に神奈川県海老名市の海老名市立図書館<sup>3</sup>が「ツタヤ図書館」としてリニューアルオープンしている。また、宮城県多賀城市の多賀城市立中央図書館<sup>4</sup>は駅前に移転し、第三の「ツタヤ図書館」として2016年3月21日に開館した<sup>5</sup>。さらに、「ツタヤ図書館」の開館準備中、導入検討中のところには、岡山県高梁市、山口県周南市などがある<sup>6</sup>。なお、武雄市図書館や海老名市立中央図書館、多賀城市立図書館等のいわゆる「ツタヤ図書館」は、CCC内部の「CCCデザインカンパニー」で運営している<sup>7</sup>。

本稿では、武雄市立図書館、海老名市立図書館のOAPCシステム等で山積していた問題点が多

賀城市立図書館では改善されたかの検証<sup>8</sup>、及び多賀城市立図書館の検索・予約システムにおけるジャンル(カテゴリー)区分の内、「ツタヤ図書館」として特徴的なジャンルである「料理」、「旅行」、「住まいと暮らし」、「美容・健康」、「ファッション」、「スポーツ・アウトドア」、「趣味実用」を中心に、先行する2館との差異を検証し、評価する<sup>9</sup>。

### 2. 「ツタヤ図書館」OPAC

#### 2.1 多賀城市立図書館のOPACシステム

まず、多賀城市立図書館のウェブサイトのデザインは先行する海老名市立図書館のウェブサイトを彷彿とさせる。しかし、多賀城市立図書館では、資料検索を「資料をさがす」とし、武雄市図書館の「検索・予約 資料の検索」や海老名市立図書館の「検索・予約」とは異なる。3年の運営の結果から生まれた利用者への配慮であろうか。

OPACのインターフェイスは海老名市立図書館と同様である。

武雄市立図書館では、NDCによる絞り込み検索は存在しない。海老名市立図書館は中央館をCCCが受託、有馬図書館をTRCが受託しているため、分類法が異なる。よってOPACでもNDC

<sup>†</sup>京都精華大学

<sup>††</sup>立命館大学等

<sup>†††</sup>相愛大学

による絞り込み検索が用意されている。多賀城市立図書館は分室も含め CCC に委託されているため、NDC は使用されないはずである。しかし、書誌詳細表示に NDC を表示し、請求記号として NDC の 3 桁を使用しているため、絞り込み検索としても残されているようである。また、後述する検索対象館の増加も要因と考えられる。

武雄市図書館では資料の状態を「在架」としているが、海老名市立図書館では「貸出可」と変更している。また多賀城市立図書館でも「貸出可」を採用している。

図 1 は多賀城市立図書館の OPAC である。

図 1 多賀城市立図書館 OPAC の画面



## 2.2 一般用「資料をさがす」(検索・予約) システム

多賀城市立図書館の「書誌検索」では、同一画

面に「かんたん検索」(簡易検索)モードと「詳細検索」モードが、同時に表示される。

対象資料は図書・雑誌・AV・行政の内から、チェックボックスで指定する。武雄市図書館や海老名市立図書館では行政資料の絞り込み検索は出来ない。この改善は評価すべき事項である。

検索対象館は、多賀城本館、山王分室、大代分室、移動図書館が選択できる。

## 2.3 一般的な検索項目:「詳細検索」モード

「詳細検索」モードでは、一次検索項目として、書名、著者名、出版者、キーワード、ISBN の入力項目がある。またプルダウンメニューでは書名、著者名、出版者、叢書名、一般件名、個人件名、学習件名、キーワード、内容細目の入力項目がある。そして、ISBN のプルダウンメニューには、ISSN や資料コードの入力項目がある。

検索式はデフォルト項目が「を含む」は、いずれも、プルダウンメニューから「で始まる」(前方一致検索)、「を含む」(キーワード検索)、「と一致する」(完全一致検索)を指定できる。デフォルト項目が「かつ」は、いずれも、プルダウンメニューから「かつ」(AND 検索)、「または」(OR 検索)、「でない」(NOT 検索)を指定できる。

二次検索項目として、NDC 分類、出版年指定、巻次の項目、独自分類である「ライフスタイル分類」<sup>10</sup>による「ジャンル」指定項目があるが、これらは単独検索項目でなく、絞り込み検索機能である。「ツタヤ図書館」は NDC を使用せず独自の分類(ライフスタイル分類)を採用している。ライフスタイル分類は二次検索項目とせず、単独の検索項目とする方が、偶然の発見につながる可能性があり、「ライフスタイル分類」採用の趣旨にそぐうのであろうに、検索システム設計の一貫性が問われよう。

## 2.4 「ツタヤ図書館」OPAC の改善点と残る問題点

我々は先行研究の中で、海老名市立図書館の OPAC で、「欠損書誌」が存在するため、検索結果一覧の該当件数と、ジャンル指定とに差が生じることに触れた<sup>11</sup>。「欠損書誌」について記した箇所を少し長いが引用する。

1) 書名欄に「キッチン」と入力し、ジャンル指定を行わずに検索を行う。「検索結果一覧」該当件数は 176 件です」のメッセージと共に、最初の 10 件の書誌及び資料状態が表示される。

2) 一方、左側の別メニュー画面では、検索結果件数が下位ジャンル区分単位で示されており、下位ジャンル区分を選択(クリック)することで、さらに個別の下位ジャンルで絞り込みが行える仕掛けである。この事例では、次の表示であった。

「料理 73」、「旅行 1」、「住まいと暮らし 23」、「美容・健康 3」、「趣味実用 3」、「児童書 20」、「文学・文芸書 10」、「自然科学 2」、「建築 12」、「医療・看護福祉 1」である。

3) このように、下位区分の表示件数の合計は、148 件であり、検索結果のメッセージ 176 件と一致しない。

4) 書誌の内容確認のために、先頭から数十件を表示して確認した。その結果、判明したことは、書誌レコードにおいてジャンルのデータがブランクである書誌レコードが散見された。

5) これらの「欠陥書誌」の存在が、OPAC においてジャンル指定を行った場合に、検索結果から排除される理由であった。

ここから判明したことは、OPAC においてジャンル指定を行えば、結果として書誌レコードにジャンルデータが入力されていない書誌は、検索結果から排除されてしまうことである。すなわちジャンル検索を使用すると、海老名市立図書館のツタヤ図書館システムでは、利用者に OPAC の検索結果の部分集合を提示していることになる。日々に利用者を欺く情報提供ではないか。早急に書誌レコードの完全な整備と OPAC システムでの対応が求められる。

そこで、多賀城市立図書館においては書誌レコードの整備に不備があるのかを調査した。結果は以下の通りである。

1) 書名欄に「キッチン」と入力し、ジャンル指定を行わずに検索を行う。「検索結果一覧」該当件数は 188 件です」のメッセージと共に、

最初の 10 件の書誌及び資料状態が表示される。

2) 一方、左側の別メニュー画面では、検索結果件数が下位ジャンル区分単位で示されており、下位ジャンル区分を選択(クリック)することで、さらに個別の下位ジャンルで絞り込みが行える仕掛けである。この事例では、次の表示であった。

「料理 92」、「住まいと暮らし 52」、「美容・健康 3」、「趣味実用 5」、「児童書 22」、「文学・文芸書 8」、「ビジネス 1」、「社会 1」、「自然科学 2」、「AV 資料 2」である。

3) 下位区分の表示件数の合計は、188 件であり、検索結果のメッセージ 188 件と一致した。

その他にも「学校」、「ペーパー」、「ブリッジ」等の言葉でも検索したが両者の検索結果の件数は一致した。図書館システムとして当然のことである。ただし、海老名市立図書館では 2016 年 3 月 23 日においても改善は見られない。早急な対応が必要であることを指摘しておきたい。

次に、3 館ともに所蔵している『みんなの少年探偵団』(万城目学他著 ポプラ社 2014 年)の構成書誌単位タイトルである「少女探偵」(湊かなえ著)を事例として取り上げた。OPAC において、構成書誌単位タイトルからも検索できるのかを確認するために、「少女探偵」をキーワードに入力し、検索を行った。結果、武雄市図書館ではヒットせず、海老名市立図書館、多賀城市立図書館ではヒットした。武雄市図書館では、構成書誌単位からの検索は出来なかった。今後の改善が必要となろう。

しかし、構成書誌単位のキーワードからも検索できる海老名市立図書館、多賀城市立図書館では、構成書誌単位タイトルを書誌詳細に表示していないため、なぜヒットしたのか利用者には分かりにくい可能性があり、早急な改善が求められる。

図 2 多賀城市立図書館 「少女探偵」検索結果書誌詳細表示画面

< 前の資料



### みんなの少年探偵団

万城目 学 著 徳 かなえ 著 小島 幸也 著 西村 潤吉 著 藤村 浩 著  
万城目学、徳かなえ、小島幸也、西村潤吉、藤村浩の5人の人気作家が怪人二十面相に挑む。懐かしくて新しい、オマージュ・アンソロジー。江戸川乱歩誕生120年記念プロジェクト。

出版社：ポプラ社  
出版年：2014.11  
ジャンル：児童書 / Y人読物 / YA国内小説  
NDC分類：913.68  
ページ数：227p / 170mm  
ISBN：978-4-591-14174-7  
資料の種類：紙書

## 3. ライフスタイル分類

### 3.1 ライフスタイル分類：「ジャンル」という区分項目

武雄市図書館、海老名市立中央図書館、多賀城市立図書館では、「ジャンル」という名称の下に、NDCとは異なる特異な項目区分が採用されている。

「ジャンル」は、「大ジャンル」、「中ジャンル」、「小ジャンル」に階層化されており、ジャンルによっては、小ジャンルの下位区分に「仕切」-「細目」という下位区分が存在している。

武雄市図書館では、第一ジャンルには24区分がある。以下に、第一ジャンルの区分を表示順に列挙する。

表1 武雄市図書館の第一ジャンル 24区分

PC	社会
コミック	人文
デザイン・アート	政治・国際
ビジネス	生活・趣味実用
医療・看護福祉	文学・文芸書
技術	法律
教育	旅行
経済	料理
建築	歴史・郷土
語学・参考書	児童書
産業	AV資料
自然科学	その他

次に、海老名市立図書館には以下の29の第一次区分の「大ジャンル」がある。

表2 海老名市立図書館の大ジャンル 29区分及び多賀城市立図書館の大ジャンル 29区分(両者

は同一)

料理	政治・国際
旅行	社会
住まいと暮らし	法律
美容・健康	IT
ファッション	自然科学
スポーツ・アウトドア	産業
趣味実用	技術
人文	建築
児童書	医療・看護福祉
語学・参考書	教育
文学・文芸書	雑誌
歴史・郷土	コミック
アート	洋書
経済	AV資料
ビジネス	

なお、多賀城市立図書館のOPACを確認すると、海老名市立図書館の「大ジャンル」と同一のジャンル名、同一順序であった。海老名市立図書館の「大ジャンル」が現時点での最善策であるという判断であろう。

## 4. 多賀城市立図書館のジャンル区分

### 4.1 全ジャンルに関わる中ジャンル展開の変更

海老名市立図書館の29区分の内、「雑誌」、「コミック」、「洋書」、「AV資料」以外の「大ジャンル」と同一名辞の「中ジャンル」(例:「大ジャンルー料理」の下位区分「中ジャンルー料理」)は多賀城市立図書館では削除された。また海老名市立図書館の「大ジャンル」と同一名辞の「中ジャンル」の展開として「全集」とあるが、その代替えとして多賀城市立図書館では「全集・選集」が「中ジャンル」に採用された。また「雑誌」、「コミック」、「洋書」、「AV資料」及び「文学・文芸書」以外の「中ジャンル」に「参考図書」が加わった。

しかしながら、「大ジャンルー文学・文芸書」の下位区分に、「中ジャンルー参考図書」が存在していないのは奇異に感じる。

多賀城市立図書館において、例えば「文学・文芸書」のジャンルの参考図書を所蔵していないはずはない。

#### 4.2 「文学・文芸書」ジャンルのレファレンスブックの検索

そこで検証のために、「文学・文芸書」ジャンルの参考図書の検索を行った。詳細検索のキーワード欄に「文学 辞典」と入力すると複数件の検索結果が表示された。表3は、その中の1件の書誌詳細表示である。

表3 『世界文学鑑賞辞典 1』書誌詳細表示

世界文学鑑賞辞典 1
著者：[ブランク]
出版者：東京堂出版
出版年：1974
ジャンル：文学・文芸書/文学理論・研究/参考図書/参考図書 (以下、略)
所蔵 所蔵件数 1件(予約件数：0件)
所蔵館 所蔵場所(棚番) 請求記号 (以下、略)
多賀城本館 文学・文芸書 R/903/㊦か/ (727005)

この検索結果のジャンル区分は、「大ジャンルー文学・文芸書」、「中ジャンルー文学理論・研究」、「小ジャンルー参考図書」にこの資料「世界文学鑑賞辞典 1」は属していることを表現している。

しかし、「大ジャンルー文学・文芸書」に関する参考図書は、「中ジャンルー文学理論・研究」のジャンルに限定されない。「大ジャンルー料理」以下、他の24ジャンルと同じように、「大ジャンルー文学・文芸書」の直近下位に「中ジャンルー参考図書」を展開すべきである。

また、「大ジャンルー文学・文芸書」の個々の書誌レコードの中ジャンル以降のデータも点検・修正を要しよう。相当な作業量と推測されるが、放置はならない。

#### 4.3 多賀城市立図書館・海老名市立図書館の中ジャンル以降の相違

多賀城市立図書館の「大ジャンル」は海老名市立図書館と同一であった。そこで、「中ジャンル」以降についても海老名市立図書館と同一であるの

か展開に注目した。ここでは「中ジャンル」、「小ジャンル」を中心に確認し、必要に応じて「細目」、「仕切」を参照する。なお、本稿では前述の通り、「ツタヤ図書館」の中核を担うジャンルである「料理」、「旅行」、「住まいと暮らし」、「美容・健康」、「ファッション」、「スポーツ・アウトドア」、「趣味実用」に焦点を当てる。

#### 4.4 区分「大ジャンルー料理」の展開の差

海老名市立図書館と多賀城市立図書館の両者に名辞がある「中ジャンル」の内、「小ジャンル」には展開の差異は無かった。ただし、「中ジャンルー食卓のレシピ」では「仕切」の展開に差があった。次項に示す。

##### 4.4.1 区分「中ジャンルー食卓のレシピ」の展開の差

両者の「中ジャンルー食卓のレシピ」では、「小ジャンル」に「調味料・保存食」がある。両者の「仕切」を比較すると、いくつかの差異があった。海老名市立図書館では、「仕切」が「漬け物」と「梅干し」は別の項目であるが、多賀城市立図書館では「漬け物・梅干し」とされた。また「その他 調味料・保存食」という展開が増加した。

海老名市立図書館では他のジャンルには「仕切」に「その他」という展開があるが、「調味料・保存食」には存在しなかった。「調味料・保存食」にも「その他」の展開は必要であろう。

次に両者の「小ジャンルー日本料理」を比較すると、海老名市立図書館では、「専門／魚料理」とされている名辞が、多賀城市立図書館では「魚料理」へと変化した。そもそも海老名市立図書館では、「小ジャンル」の展開に「専門」を冠した名辞（「専門料理」）があるため、「日本料理」の名辞の下にも「専門」が必要であったのかは疑問である。

「小ジャンルー専門料理」では、海老名市立図書館では「仕切」に「専門料理一般」とあったが、多賀城市立図書館では「専門料理」と変化した。これは単に名辞の変更であろう。

また、「仕切ー独立開業」を「中ジャンルー食卓のレシピ」内に置くにはいささか無理があるように感じる。

両者の「中ジャンルー食卓のレシピ 小ジャンルーお菓子」の「仕切」の展開には「ケーキ」、「チーズケーキ」、「カップケーキ」等のジャンルがある。しかし、本来は「チーズケーキ」も「カップケーキ」も「ケーキ」の下位区分であり、「細目」で展開されるべきはずである。同様に「マカロン」も「フランス菓子」の下位区分であろう。TSUTAYA 書店、及び蔦屋書店の売れ行きを模したためであろうか。もしくは文献的根拠に基づいた下位概念の繰り上げ措置であろうか。

#### 4.5 区分「大ジャンルー旅行」の展開の差

海老名市立図書館の「中ジャンルーテーマ別旅行 小ジャンルーLONELY PLANET」が多賀城市立図書館では「中ジャンルー旅行シリーズ別 小ジャンルーLONELY PLANET」へと移動された。なお、海老名市立図書館では、「LONELY PLANET」をジャンルとする資料数は1冊であり、多賀城市立図書館では現在の所、所蔵が見当たらない。ただし、公立図書館において「旅行シリーズ別」の必要性は感じない。ここでも書店を彷彿とさせるジャンル展開となっている。

「小ジャンルー世界を旅する」では、「仕切ーロングステイ」が削除された。「小ジャンルー海外で暮らす」との差異を図るためであろうか。

両者の「中ジャンルーテーマ別旅行」には「小ジャンルーテーマパーク」がある。「仕切」も同様に「テーマパーク」であり、「細目」には「下記以外」、「国内」、「海外」とある。「国内」、「海外」は地域による細分類であるが、「下記以外」は不必要であろう。同様のことは「温泉」等にもある。

多賀城市立図書館では「中ジャンルー国内旅行」の「小ジャンル」に「国内旅行」が増えている。同一ジャンル名辞の上位ー下位概念での繰り返しは意味不明である。

#### 4.6 区分「大ジャンルー住まいと暮らし」の展開の差

海老名市立図書館では、「中ジャンルー住まい 小ジャンルーインテリア」の「仕切」は「バス」と「トイレ」が別項目であるが多賀城市立図書館では「バス・トイレ」と同一区分となった。書籍の出版数を考慮したものであろうか。

次に、海老名市立図書館では「中ジャンルー暮らし」の「小ジャンル」に「その他 冠婚葬祭」がある。「その他」と付されているのは「小ジャンル」内に「行事・しきたり」の名辞があるためと類推される。しかし、「行事・しきたり」の「仕切」を確認すると、「冠婚葬祭事典」及び「葬儀」が存在する。これらの名辞は本来、冠婚葬祭の下位項目であるため、「仕切」内に齟齬をきたしており、整理を要する。また、「冠婚葬祭」の名辞に「その他」を付す必要は無かったのではないだろうか。

多賀城市立図書館では「その他 冠婚葬祭」は削除されており、「中ジャンルー暮らし」の「小ジャンルー行事・しきたり」の「仕切ー行事・しきたり」及び「仕切ー冠婚葬祭事典」、「仕切ー葬儀」等に分散している。つまり、海老名市立図書館にある「その他 冠婚葬祭」は、「行事・しきたり」に統合されたことになる。しかし、図書館の配架であるということを念頭に置くと、「仕切」に「冠婚葬祭」を設け、その下位区分に「冠婚葬祭事典」や、「葬儀」を設けるべきではなかろうか。

また、多賀城市立図書館では、「小ジャンルー行事・しきたり」に「仕切ーその他 行事・しきたり」が登場している。

海老名市立図書館では「中ジャンルー暮らし 小ジャンルーお金のなし」に「細目」として「その他 家計プラン」とあるが、多賀城市立図書館では、「その他 お金のなし」と名称が変更されている。

多賀城市立図書館では、「中ジャンル」の「ペットと暮らす」に「小ジャンルーペットロス」が増えている。現代の世相を表した結果であろう。

海老名市立図書館では「中ジャンルー緑のある暮らし 小ジャンルー植物図鑑」であったものが、多賀城市立図書館では「小ジャンルー植物図鑑・園芸事典」とされ、図鑑だけでなく、事典類も収められるように工夫された。

多賀城市立図書館では、「中ジャンルー手芸 小ジャンルー編み物」に「仕切ー編む小物」が登場している。最近の流行を考慮しての増加であろう。

また、多賀城市立図書館では「中ジャンルークラフト 小ジャンルークラフト」に「仕切ーエコクラフト・かご編み」とされ、海老名市立図書館には無い「かご編み」が増えている。



反対に、海老名市立図書館では「中ジャンルークラフト」に「小ジャンルー工芸」がある。しかし、多賀城市立図書館では、「工芸」が削除され、その下位の展開も見当たらない。

出版点数やその時々の人気を反映した結果と見えよう。

#### 4.7 区分「大ジャンルー美容・健康」の展開の差

多賀城市立図書館では、「中ジャンル」に「自分らしい生き方」のジャンルが増加した。しかし、生き方は「美容・健康」のみに関わる事項であろうか。どのような資料がこのジャンルに含まれるのか調べるために、キーワード入力欄に「自分らしい生き方」と入れ検索したが、当該ジャンルに包含された資料は見つからなかった。

海老名市立図書館では「中ジャンルー美容 小ジャンルー美容」の「仕切」に「美容、美容エッセイ、女性ヘアカタログ、男性ヘアカタログ、ネイル、アロマセラピー、アロマセラピー検定、その他 美容」とある。一方の多賀城市立図書館では、「仕切」が「美容、美容エッセイ、キッズヘアカタログ、女性ヘアカタログ、男性ヘアカタログ、ネイル、アロマセラピー、入浴法、その他 美容」となり、項目が精査された。

次に、海老名市立図書館では「小ジャンルーマッサージ」の「仕切」に、「マッサージ、リンパマッサージ、美容マッサージ、美顔マッサージ、その他 マッサージ」とある。多賀城市立図書館では、「マッサージ、美容・美顔マッサージ、その他 マッサージ」と項目が少なくなった。図書館に収集される資料数の差であろう。

「中ジャンルー出産・育児 小ジャンルー育児」を見ると、多賀城市立図書館ではその下位の展開に「子どもの病気」が無くなった。これは「中ジャンルー健康 小ジャンルー家庭の医学」の「仕切」に「こどもの病気」という項目が既にあったためであろう。書店では同一資料であっても複数の場所に配置することがある。海老名市立図書館ではそのような考えに従っているのだろうか。しかしながら、この2つのジャンルの差をどう管理しているのか疑問が残る。

#### 4.8 区分「大ジャンルーファッション」の展開の

#### 差

海老名市立図書館では、「大ジャンルーファッション 中ジャンルーファッション」の「小ジャンル」の展開に「全集」とあるが、多賀城市立図書館では、「全集」が無くなった。

海老名市立図書館では、「小ジャンルーファッション」の「仕切」に、「ファッション事典」とあるが、多賀城市立図書館では、「ファッション事典」が無くなった。「ファッション」の「細目」まで確認したが、「ファッション事典」はどこにも見当たらない。そこで、キーワード検索項目に「ファッション 事典」及び「ファッション 辞典」と入力し、検索を行った。その結果、多賀城市立図書館では、ファッション関連の事典・辞書類は「ファッションー参考図書ー参考図書ー参考図書」の分類となっていることが分かった。しかし、「中ジャンル」から「細目」まで同一名辞で管理をする必要があるのか疑問がある。「中ジャンル」までに止めておく方が配架等を考えてもシンプルではなかろうか。

海老名市立図書館では、「小ジャンルー女性ファッション 仕切ー女性ファッション、小物、ジュエリー、着物、香水、その他 女性ファッション」とあったが、多賀城市立図書館では、「仕切ー女性ファッション、衣類、小物、着物、香水、その他 女性ファッション」となり、「衣類」が増加し、「ジュエリー」が減少した。なお、「ジュエリー」は「仕切ー小物」の「細目」へと移動していた。図書館に収集される資料数を考慮した結果であろうか。

一方、「小ジャンルー男性ファッション」を見ると、海老名市立図書館では、「仕切ー男性ファッション、小物、革製品、時計、文房具、シガー・ライター、香水、その他 男性ファッション」となっているが、多賀城市立図書館では「男性ファッション、衣類、小物、時計、文房具、シガー・ライター、香水、その他 男性ファッション」となり、「革製品」が「仕切ー小物」の「細目」へと移動された。

女性・男性のファッションへのこだわりが異なっているとしてこのような展開を考慮しているのであるか。しかしながら、CCCが想定するステレオタイプの男性像、女性像を押し付けられているようにも感じる。



#### 4.9 区分「大ジャンルスポーツ・アウトドア」の展開の差

両者とも「大ジャンルスポーツ・アウトドア」の下位区分「中ジャンルスポーツ」、及び各「小ジャンル」までは同一であった。

多賀城市立図書館では、「小ジャンルトレーニング 仕切トレーニング」の「細目」が全て削除されていた。図書館での所蔵冊数を考慮した結果であろうか。むやみに多いジャンル設定は配架、書架戻しにも時間がかかってしまう。

「中ジャンルアウトドア 小ジャンルアウトドア」には、「仕切スローライフ」がある。デジタル大辞泉によるとスローライフとは、「効率やスピードを重視するのではなく、のんびりと過ごしながら、人生を楽しみ、生活の質を高めようとする」とある<sup>12</sup>。「スローライフ」は「アウトドア」よりも「暮らし方」、「生き方」ではないだろうか。

#### 4.10 区分「大ジャンル趣味実用」の展開の差

##### 4.10.1 「中ジャンル日本文化」

海老名市立図書館では、「中ジャンル日本文化 小ジャンル古典芸能」のもとに「仕切古典芸能、歌舞伎、狂言、能楽、文学、謡曲、落語、演芸、その他 芸能」とあった。しかし、多賀城市立図書館では、「小ジャンル古典芸能」が無くなり、その下位区分も無くなった。せめて「小ジャンル」に「その他 日本文化」が必要ではなからうか。

また、「小ジャンル茶道」にも変化があった。海老名市立図書館では、「仕切茶道事典、茶道一般、表千家、裏千家、道具、その他 茶道」であるのが、多賀城市立図書館では「仕切茶道事典、茶道一般、茶道の作法、茶道史・茶人伝、道具、表千家、裏千家、その他 茶道」となった。「茶道の作法」は流派により異なるはずであるが、ここでは「最低限」の作法ということであろうか。また、煎茶道と抹茶を中心とする茶道との差が表現できず展開に不十分さを感じる。

同様に「小ジャンル華道」でも変化がみられた。海老名市立図書館では「仕切華道一般、作品集、その他 華道」であるのが、多賀城市立図書館では「華道事典、華道一般、華道技法、華道史・華道家伝、華道具、その他 華道」と項目が増加し

た。しかし、ここには茶道にあったような流派による展開は無い。「華道一般」に分類付与するのであろうか。

一方、「小ジャンル香道」では、海老名市立図書館では「仕切香道一般、その他 香道」であったのが、多賀城市立図書館では「香道一般」のみとなった。そもそも「一般」と「その他」の差は何を考えられていたのであろうか。例えば香道の流派や香道具などの展開が用意されていないため、何を一般とし、何をその他とするのかが分からない。多賀城市立図書館では「一般」の展開しか見られないが、それであれば「仕切香道一般」というような下位区分の展開は必要無いのではなからうか。

また、「小ジャンル書道」でも削減が見られた。海老名市立図書館では、「仕切書道、書道事典、書道エッセイ、書道一般、書道技法、書体・書法、写経、墨場必携、篆刻、表装・表具、書跡集・法帖、中国画、その他 書道」であるが、多賀城市立図書館では、「書道事典、書道一般、書体・書法、書道具、手紙・年賀状、写経、篆刻、表装・表具、その他 書道」と変化している。

「小ジャンル水墨画」でも変化があった。海老名市立図書館にある「仕切水墨画評論、作品集」が多賀城市立図書館では無くなり、「水墨画事典」が増えた。出版点数を考えての結果であろう。

##### 4.10.2 「中ジャンル陶芸・工芸」

次に、「中ジャンル陶芸・工芸」を確認すると、海老名市立図書館にあった「小ジャンル骨董」及びそれ以降のジャンル展開が多賀城市立図書館では無くなった。「小ジャンル趣味の陶芸」では、「仕切陶芸一般、陶芸読み物、陶芸技法、陶芸、その他 趣味の陶芸」であったのが、「仕切陶芸事典、陶芸一般、陶芸技法、その他 趣味の陶芸」となった。

「小ジャンル趣味の工芸」では、海老名市立図書館では、「仕切工芸一般、伝統工芸、染色・織物、宝石・アクセサリ、ガラス工芸、人形、仏像彫刻、木工、刀剣、甲冑、金工芸、その他 工芸」とあるが、多賀城市立図書館では、「工芸事典、漆工芸、骨董」が増えた<sup>13</sup>。

#### 4.10.3 「中ジャンルー趣味の絵画」

次に「中ジャンルー趣味の絵画 小ジャンルー絵画技法」を確認すると、海老名市立図書館では「仕切」に、「水彩画」、「絵手紙」とある名辞が、多賀城市立図書館では、「水彩画・アクリル画」、「絵手紙・年賀状」と変更された。この用語の方が利用者にとって探しやすいのであれば、海老名市立図書館でも採用するべきであろう。

#### 4.10.4 「中ジャンルー音楽・演奏」

「中ジャンルー音楽・演奏 小ジャンルー合唱・声楽」の「細目」を確認すると、海老名市立図書館では、「合唱・声楽、声楽、発声法・歌唱法、独唱、合唱、童謡、邦楽、カラオケ歌集、その他 合唱・声楽」とあるが、多賀城市立図書館では、「合唱・声楽、発声法・歌唱法、合唱、童謡、邦楽・民謡、楽曲集、その他 合唱・声楽」と精査された。

両者の「小ジャンルー楽器」には、各種楽器の項目がある。「仕切ー弦楽器」を確認すると、「細目ー下記以外、ギター」とある。また、「仕切ー打楽器」には、「細目ー下記以外、ベース・ドラム」とある。しかし、ベースは弦楽器ではないのだろうか。また「ベース・ドラム」と一括りにされている理由が分からない。

「中ジャンルー音楽・演奏」を見ると、海老名市立図書館にあった「小ジャンルーオーディオ」が多賀城市立図書館では無くなった。多賀城市立図書館のオーディオ関係の資料がどのジャンルに含まれているのか調べた所、「趣味実用ー音楽・演奏ー音楽・演奏ーその他 音楽・演奏」とされていた。「小ジャンル」に「オーディオ」を作成したが、CCC が想定するターゲットとニーズが異なっていた、もしくは文献数等を考慮して繰り下げられた結果なのであるだろうか。

ここで、海老名市立図書館の「大ジャンルーアート」を確認した所、「中ジャンル」に「音楽」とある。更に、下位の展開を見ると、「小ジャンルー音楽」には、「仕切ー音楽一般、音楽エッセイ、ロック&ポップス、ブルース、ソウル、ジャズ、ゴスペル、レゲエ、ヒップホップ、民族音楽、歌謡曲・演歌、純邦楽・民謡、童謡・わらべうた、唱歌、オーディオ、その他 音楽」とあり、オーディオが再び登場していることが分かる。「中ジャンル

ー音楽・演奏」は音楽を聴くのではなく、自分で演奏する趣味ということであろうが、どちらに「オーディオ」のジャンルを置く方が利用者にとって便利なのか今一度整理が必要ではなかろうか。検討を要するのではないだろうか。

#### 4.10.5 「中ジャンルーカメラ」

次に「中ジャンルーカメラ」を確認すると、海老名市立図書館では、「小ジャンルーカメラ 仕切ーカメラ一般、カメラエッセイ、写真論、アナログカメラ、デジタルカメラ、一眼レフ、ビデオカメラ、撮影技法、編集技法、録画技法、その他 カメラ」とあるのが、多賀城市立図書館では、「仕切ーカメラ事典、カメラ一般、写真史、写真家、写真論、撮影機材、アナログカメラ、デジタルカメラ、一眼レフ、ビデオカメラ、撮影技法、編集技法、その他 カメラ」となり、「カメラエッセイ、録画技法」が無くなったが、「カメラ事典、写真史、写真家」が増えた。

海老名市立図書館では、「写真家」は「大ジャンルーアート 中ジャンルー写真集 小ジャンルー写真集」の「仕切」の中に、「日本の写真家、海外の写真家」というジャンルに展開されている。多賀城市立図書館では、「大ジャンルーアート 中ジャンルー美術 小ジャンルー写真」の項目はあるが、「仕切」は「写真集」のみの展開となっている。「大ジャンル」内の「アート」と「趣味・実用」の棲み分けを今一度検討するべきであろう。

#### 4.10.6 「中ジャンルー鉄道」

「中ジャンルー鉄道」を見ると、海老名市立図書館では、「小ジャンルー鉄道読み物」には、「仕切ー鉄道読み物、鉄道エッセイ、鉄道史、鉄道雑学、鉄道専門」とある。一方の多賀城市立図書館では、「仕切ー鉄道事典、鉄道史、鉄道読み物」のみとなった。詳細すぎる展開が不必要となったのであろうか。

更にその詳細を見ると、海老名市立図書館では「小ジャンルー鉄道読み物、路線・駅、車両、その他 鉄道」とある。一方の多賀城市立図書館では、「小ジャンルー鉄道読み物、駅・廃線、路線・車両、その他 鉄道」とある。海老名市立図書館では、「廃線」は「小ジャンルー路線・駅」の「仕切

に存在する。「廃線」資料の人気により繰り上げ措置となったのであろうか。

ここで、海老名市立図書館の「廃線」の関連資料がどのようなジャンルにカテゴリ化されているのか調査した。キーワード検索入力欄に「廃線」とし、図書に限定し検索を行った結果、24件がヒットした。結果、表4のように同一シリーズであってもカテゴリ化に不一致やジャンル記述の不備が見られた。同一シリーズの資料であっても、内容により別の分類記号を付与する場合もある。しかし、この資料は内容を考慮しての結果であろうか、疑問が残る。

表4 同一シリーズでジャンルが異なる場合

鉄道廃線跡を歩く JTB キャンプックス  
失われた鉄道実地踏査 60  
著者宮脇 俊三／編著  
出版者：日本交通公社出版事業局  
出版年：1995.11

内容：クルマや過疎におされ、次々と廃止されていったローカル線たち。その廃線跡を徒歩で歩くという新しい鉄道趣味を見つけた著者が、全国津々浦々の失われた鉄道を歩いた記録。豊富な写真と資料も収録した。

ジャンル：旅行/テーマ別旅行/鉄道・船の旅/鉄道・船の旅/国内  
NDC 分類：686.21

鉄道廃線跡を歩く 2 JTB キャンプックス  
著者：宮脇 俊三／編著  
出版者：日本交通公社出版事業局  
出版年：1996.9

内容：前作で取り上げなかった 60 路線を、北は歌登軌道から南は沖縄県営鉄道までを実地踏査。路線の歴史や廃線に至る経緯、廃線跡の現状を、写真と豊富な資料を加えながらルポ。

ジャンル：旅行/テーマ別旅行/鉄道・船の旅/鉄道・船の旅/国内

NDC 分類：686.21

鉄道廃線跡を歩く 3 JTB キャンプックス

著者：宮脇 俊三／編著

出版者：JTB

出版年：1997.5

内容：クルマや過疎におされ、次々と廃止されていったローカル線。全国に残る失われた鉄道の跡をたどる廃線探訪の第3弾。60路線について、写真と資料をまじえながら、その移り変わりや現状をたずねる。

ジャンル：[ブランク]

NDC 分類：686.21

鉄道廃線跡を歩く 6 JTB キャンプックス

著者「：宮脇 俊三／編著

出版者：JTB

出版年：1999.3

内容：戦後復興に多大な役割りを果たしてきた筑豊炭田地区の鉄道、サハリンに残る未成線などを訪ねる。路線の歴史や廃線に至る経緯、廃線跡の現状を、写真と豊富な資料を加えながらルポ。

ジャンル：趣味実用/鉄道/路線・駅/廃線

NDC 分類：686.21

なお、多賀城市立図書館では、キーワード入力欄に「鉄道廃線」とし、検索した所、4件がヒットしたが、全て「趣味実用—鉄道—駅・廃線—廃線」の分類となっていた。

#### 4.10.7 「中ジャンル—クルマ、バイク、クルマ・バイク、乗り物」

次に、「中ジャンル—クルマ」を確認する。海老名市立図書館では、「小ジャンル—クルマ読み物、クルマカタログ、日本メーカー、海外メーカー、ドイツ車、イタリア車、イギリス車、フランス車、アメリカ車、その他 欧州車」と続く。多賀城市立図書館では、「小ジャンル—クルマ読み物、クルマカタログ、日本メーカー、海外メーカー」となり、

海外メーカーの下位に「ドイツ車」等が置かれた。図書館に所蔵される資料の冊数を考慮しての繰り下げとなったのであろうか。ただし、「中ジャンルーバイク」では、海老名市立図書館でも「小ジャンルー国内バイク、海外バイク」とあり、その下位に「ホンダ」や「ハーレーダビッドソン」等のメーカー名が配置されている。尚、多賀城市立図書館では、メーカー名等の「仕切」は存在しない。

また、両者には「中ジャンルークルマ・バイク」が存在するが、「小ジャンル」を確認すると、「レース、メンテナンス、その他 クルマ・バイク」とある。果たしてこのジャンル設定は必要であるのだろうか。

「中ジャンルー乗り物」は両者とも「細目」まで同一であった。

#### 4.10.8 「中ジャンルーコレクション、ミリタリー、ゲーム、競馬、ギャンブル、占い」

海老名市立図書館の「中ジャンルーコレクション」には、「小ジャンルーコレクション、模型製作、ガンダム、特撮、その他 コレクション」とある。多賀城市立図書館でも同様の展開である。しかし、コレクションの「小ジャンル」の展開を見る限りでは、所謂男性中心のコレクション展開であり、疑問が残る。「ツタヤ図書館」が想定する利用者層を考慮した結果であらうか。

次に、「小ジャンルーコレクション」を見ると、海老名市立図書館にある「仕切ーおもちゃ、その他 コレクション」が多賀城市立図書館では無くなった。文献的根拠に基づいた削除であらうか、しかし、多賀城市立図書館が今回のジャンル展開で想定していないコレクションに関する資料が所蔵された際に分類に困る。ゆえに「その他 コレクション」は必要ではなからうか。そして、両者の「仕切」に「ノスタルジー」とあるが、世代や趣味嗜好により、「ノスタルジー」の感じ方は異なるのではないだろうか、このカテゴリーは本当に必要だろうか。

海老名市立図書館の「中ジャンルーミリタリー」には、「ミリタリー読み物、軍隊、兵器、武器・兵装、模型、その他 ミリタリー」であったものが、多賀城市立図書館では、「ミリタリー、軍隊、兵器、武器・兵装、その他 ミリタリー」となった。海老

名市立図書館のキーワード検索の項目に「ミリタリー読み物」と入力してもヒットしなかった。そのような結果からも、多賀城市立図書館では、不要とされたのであろうか。また、ミリタリーの「模型」も多賀城市立図書館では削除された。また、海老名市立図書館でもミリタリーの模型に分類されている資料は無かった。例えば、河井登喜夫監修『甦る戦艦大和 超精密 1/100 スケールモデル特写』工作舎,1999 は、「趣味実用ーコレクションーコレクションーコレクション」へ分類されていた。

海老名市立図書館には、「中ジャンルーゲーム」の「小ジャンルー麻雀」に「仕切ー点数計算」があったが、多賀城市立図書館では、「点数計算」は削除された。「点数計算」のみを主題とした出版物はまず考えられないことからの修整であらう。

両者の「中ジャンル」には、「競馬」と「ギャンブル」がある。しかし、本来、競馬はギャンブルの下位区分であり、「小ジャンル」での展開とされるべきである。しかし、ここでも下位概念の繰り上げが見られる。

「中ジャンルー占い」では、海老名市立図書館にあった、「仕切ー人気占い師」が多賀城市立図書館では無くなり、資料はそれぞれの占い方に分類されることになった。「人気」は図書館が決めることでは無く、また世間の流行り廃りもあろう。

#### 4.11 小考察

以上、多賀城市立図書館と海老名市立図書館のジャンル展開の差を中心に比較した。「大ジャンル」には全く差は見られなかった。

「小ジャンル」以降には、微々たる変化が見受けられたものの全体として顕著な改善点は見受けられなかった。

なお、大きな問題点を2点再確認しておきたい。第一は、大ジャンル以下に割り当てられている「ライフスタイル分類」の主題展開と個々の書誌レコードに入力されている「ジャンル」データとの不整合である。OPACでの検索結果に問題のある振る舞いへとつながる事項である。早急な対応が必要であらう。

第二は、武雄市図書館システムについて海老名市立図書館システムで改善した諸点が、武雄市図

書館システムに還元がされていないことである。同様のことは、多賀城市図書館システムでの改良点が先行する2図書館システムに反映されないことになる。

図書館業務の指定管理者として同一のCCCと契約を結び、運営委託を実施する「ツタヤ図書館」でありながら、「釣った魚に餌を与えない」ような経営展開には疑問が残る。

## 5. 解決されなかった問題点

我々は以前に武雄市図書館、海老名市立図書館の検索・予約システムについて検証を行う中で、いくつかの大きな問題点を指摘しておいた<sup>14</sup>。

本章ではこの問題点が、今回新しく開館された多賀城市立図書館でどのように措置がされたのかを検証していく。

### 5.1 所在表示と配架場所

表5は多賀城市立図書館のOPACでの検索結果の書誌詳細表示である。

表5 書誌詳細表示

<p>もう一度、ごちそうさまが、聞きたくて-ちかごろ人気の、うちのごはん 140 選-</p> <p>著者：栗原はるみ / 著</p> <p>出版者：文化出版局</p> <p>出版年：1994.10</p> <p>ジャンル：料理/食卓のレシピ/日々の料理の達人/日々の料理の達人/栗原はるみ</p> <p>NDC 分類：596</p> <p>(以下、略)</p> <p>所蔵 所蔵件数 1 件(予約件数：0 件)</p> <p>所蔵館 所蔵場所 請求記号 (以下、略)</p> <p>中央図書館 料理 596/7 (711023)</p>
---

先行論文でも指摘したが、この表示では、所蔵場所の表示「料理」が1階に配置されていることを知らなければ、資料へのアプローチが困難である。利用者は、1階の「料理」ブロックの中で、「食卓のレシピ」コーナー → 「日々の料理の達人」

サブコーナー → 「栗原はるみ」、とたどることになる。

また、返却図書の本架戻しを行う図書館スタッフは、多賀城市立図書館の大ジャンル 29 区分のフロア配置を熟知する必要がある。

一般的な別置記号、分類記号、著者記号等を組み合わせた所在記号体系の採用と比較して、独自分類を採用する「ツタヤ図書館」の大きな問題点であり、運営の課題、桎梏ともなろう課題である。

### 5.2 所蔵場所「飾」

表6、表7は多賀城市立図書館のOPACでの検索結果の書誌詳細表示である。順次に検討を進める。

表6 所蔵場所「飾 宮城の文学」

<p>昭和国民文学全集 21</p> <p>出版者：筑摩書房</p> <p>出版年：1977</p> <p>ジャンル：文学・文芸書/叢書・全集/国内文学/国内文学</p> <p>NDC 分類：913.68</p> <p>(以下、略)</p> <p>所蔵 所蔵件数 1 件(予約件数：0 件)</p> <p>所蔵館 所蔵場所(棚番) 請求記号(以下、略)</p> <p>多賀城本館 飾 宮城の文学 721902</p>
--

表7 所蔵場所「飾 人文」

<p>山の文学全集 1</p> <p>深田久弥 // [著]</p> <p>出版者：朝日新聞社</p> <p>出版年：1971</p> <p>ジャンル：文学・文芸書/叢書・全集/国内文学/国内文学</p> <p>NDC 分類：915.6</p> <p>(以下、略)</p> <p>所蔵 所蔵件数 1 件(予約件数：0 件)</p> <p>所蔵館 所蔵場所(棚番) 請求記号(以下、略)</p>
--

多賀城本館 飾 人文  
(721909)

2 件の所蔵情報に着目されたい。所蔵場所として、「飾 宮城の文学」、「飾 人文」が表示されている。所蔵場所に「飾」が付加されている情報は、配架場所が、キャットウオークに囲まれた高層書架を示している<sup>15</sup>。しかし、多賀城図書館のウェブサイトでの情報表示範囲では、この構想書架群における主題別配架のサイン情報は不明であった。

また、データ「(棚番)」は、個々の棚に付した番号だと類推されるが、公開情報の範囲では数列の解読はできない。

### 5.3 中学校図書館の書誌検索[付記]

多賀城市立図書館の OPAC では、検索対象(館)として、本館、分室以外に移動図書館 1 及び多賀城中学校以下 4 校の学校図書館の蔵書も検索対象とできる<sup>16</sup>。検索対象を 4 校の学校図書館として、検索実行を行った。

表 8 は多賀城市立図書館の OPAC での検索結果の書誌詳細表示である。

表 8 学校図書館の蔵書表示

別冊図書館戦争 1 / 有川浩著  
出版者：アスキーメディアワークス  
出版年：2008.4  
ジャンル：文学・文芸書 / 日本文学 / 国内小説 / 国内小説  
(以下、略)

所蔵 所蔵件数 1 件(予約件数：0 件)  
所蔵館 所蔵場所(棚番) 請求記号(以下、略)  
多賀城中学校 日児童文学 /J913/ア/1  
(000031)

真夜中のディズニーで考えた働く幸せ 14 歳の世渡り術 / 鎌田 洋著  
出版者：河出書房新社  
出版年：2014.9  
ジャンル：児童書 / YA / 進路 / 職業  
(以下、略)

所蔵 所蔵件数 1 件(予約件数：0 件)

所蔵館 所蔵場所(棚番) 請求記号(以下、略)  
多賀城本館 YA /J366/カネ/YA  
(712004)  
東豊中学校 児童社会 /J366//  
(000024)

ここで「予約する」ボタンを選択すると、利用者 ID、パスワードの入力画面へと変移した。システムの振る舞いを見る範囲では、4 つの中学校の蔵書も予約、貸出の対象である。市立図書館と学校図書館の物流体制は整っているであろうか。

また、学習情報センターとしての学校図書館においては、学習教材は年間の学習指導計画と結びついており、教材としての優先確保が必要である。しかし、OPAC でのシステム振る舞いを観察した範囲では、こうしたことへのシステム的な対応は明確ではなかった。ただし、所蔵館を「多賀城中学校」ほか 3 校を指定して、「英語」などの学習関係用語をキーワード検索してみても、検索結果は 0 件であった。中学校図書館の蔵書検索対象は、学習教材が除かれているのかもしれない。

なお、多賀城市立図書館の基本的な経営方針、運営指針となる『第二次多賀城市立図書館基本計画』<sup>17</sup>には、こうした諸点への論述は確認ができなかった。

## 6. さいごに

「ツタヤ図書館」の立ち上げ、運営の中心として業務を遂行してきた CCC のカンパニー長の高橋はインタビューで「公共事業は三つ手掛けて実績と認められる。多賀城はわれわれの集大成と位置付け、緊張感を持って臨んでいる。これまでは不適切との指摘があれば、その都度改善すればいいという逃げの気持ちがあった」と述べている<sup>18</sup>。また武雄市の受託の際の選書を振り返った際には、「行政手続としては問題ないと、当時から武雄市に言われていますが、武雄市図書館の時、僕たちはド素人でした。一館もやってない状態で、時間がなく、かつ予算もないという特殊な状況の中、2 年半運営した経験を積んだ自分たちからすれば、もっと良いことができたのではないかと反省して



います」<sup>19</sup>という発言をしている。

ただし、検討を進めてきた範囲では、「もっと良いこと」は新委託図書館について改善点が反映されるのみで、既に委託契約中の図書館への改善点の反映は確認できなかった。

また、ハフィントンポストに掲載された Chika IGaya の報告には「海老名市では、著者名の頭文字を記した「著者記号」が1文字だけだったため、多数の著者が同じ分類となってしまう、本を探しづらかった。そこで、多賀城市では著者名前の頭文字を2文字に増やしている」とある<sup>20</sup>。

武雄市図書館、海老名市立中央図書館は今後の受託館をよりよくするための実験のために用意された図書館では無い、培ってきたノウハウがそれぞれに還元されていくことを強く望む次第である。

ち現われているのかもしれない。

#### 付記：「ツタヤ図書館」での個人情報保護

海老名市立図書館、及び多賀城市立図書館のウェブサイトアクセスすると、「Culture Convenience Club Co., LTD [JP] <https://ebina.city-library.jp>」、や、

「Culture Convenience Club Co., LTD [JP] <https://tagajo.city-library.jp>」と表示される。

CCC が指定管理者として受託した両方の図書館サイトは、CCC の EV SSL(Extended Validation SSL Certificate)<sup>21</sup>証明書の下に、あたかも市が管理するドメインのように見せている<sup>22</sup>。

武雄市図書館の指定管理受託以来、Tカードと読書記録等の個人情報保護の問題が問われたが、すでに海老名市、多賀城市ではドメイン全体がCCCの管理下にある<sup>23</sup>。有期契約の指定管理者委託において、ドメインを指定管理者に委ねることは、矛盾がある。

また、別途、「ツタヤ図書館」に関連して、CCCが「Pマーク」を返上したことに関して個人情報の保護問題を取り上げた報道がされている<sup>24</sup>。

また、多賀城市では図書館に「読書通帳」を導入し、市内の小中学校で全員配布を行ったことに対して、批判の声が上がっている<sup>25</sup>。

クリエイティブ・コモンズの提唱者であるローレンス・レッシングが語った、コード(プログラム)が、法規や社会規範を透過して君臨する世界が立

## 引用文献

1 代表的な批判に次がある。

田井郁久雄「海老名市立中央図書館の問題は何か～図書館と書店、CCCとTRC」『談論風発』Vol.10 No.2, 2015.10, p.1-5.

田井郁久雄「虚像の民営化『ツタヤ図書館』」『世界』No.876, 2015.12, p.196-205.

また、『みんなの図書館』466号2016年2月では「ツタヤ図書館」の特集をしている。合わせて参照されたい。

2 武雄市図書館

<https://www.epochal.city.takeo.lg.jp/wini/opac/top.do> [確認：2016.03.31]

3 海老名市立図書館

<https://ebina.city-library.jp/library/ja> [確認：2016.01.01]

海老名市立図書館は複数館で構成されている。OPACと図書館全体での共通システムでは、海老名市立図書館と表記し、委託対象の中央図書館については海老名市立中央図書館と表記した。

4 多賀城市立図書館

<https://tagajo.city-library.jp/library/ja> [確認：2016.03.31]

5 なお、多賀城市は図書館の移転及び運営形態の変更について以下のようにコメントしている。

現在の図書館は、施設が手狭で必要なサービスが提供できないこと、老朽化により利用者にとって優しい空間とはなっていないこと、図書の貸出サービスを中心として整備された施設であり限定的なサービスの提供に偏っていること、さらには立地条件と交通アクセスの課題を抱えていることなどから市民利用率が1割ほどに止まっており、利用者の固定化が払拭できない状況となっています。図書館は、より多くの市民に利用されてこそ、その真価を発揮します。

移転後の図書館は、管理・運営形態とも常に利用者の視点に立ち、来館しやすい環境の整備や居心地の良い場と空間を創出するなど、新たな取組やサービスによって全ての市民に親しまれ利用される施設になることを目指し「本と人との出会い」をテーマに「本と人」をつなぐことで「人と人」をつなぎ、豊かな文化活動の交流拠点として地域社会と市民生活の発展に貢献します。

また、CCCの高橋聡図書館カンパニー長は現地

での記者会見で、新図書館の経済効果は年間約50億円と発表している。

河北新報 3月21日(月)10時11分配信

[http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201603/20160321\\_12023.html](http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201603/20160321_12023.html) [確認：2016.03.31]

6 「TSUTAYA 図書館は何を目指すのか？CCCの責任者が語る現状と『未来』」2015年11月12日『HUFF POST Society』

<http://www.huffingtonpost.jp> [確認：2016.03.31]

同記事は、2015年11月11日、横浜市で開催された第17回図書館総合展のフォーラムでのCCCの図書館カンパニー長の高橋聡氏の発言である。

なお、フォーラムの記録動画は、次を参照。

<http://www.libraryfair.jp/forum/2015/1852> [確認：2016.03.31]

7 『週刊東洋経済』2015.10.31号, p.42-43.

なお、TSUTAYA書店グループは、リアル書店では国内最大手であり、2015年3月決算では、約1,200億円の売り上げがある(『週刊東洋経済』2015.10.31号, p.39)。

8 川瀬綾子、森美由紀、北克一「図書に対するアマゾン分類とCCC分類の比較検討」『情報学=Journal of Informatics』13(1)

<http://kiyo.info.gsc.osaka-cu.ac.jp/JI/> [掲載予定]

9 我々は武雄市図書館及び海老名市立図書館の資料区分について研究を行った。以下を参考にされたい。

川瀬綾子、北克一「『ツタヤ図書館』の資料区分を検証する その1—武雄市図書館、海老名市立図書館の検索・予約システムにおけるジャンル(カテゴリ)指定を手掛かりに—」『資料組織化研究-e』No.68, 2016.3. <http://techser.info/> [2016.03]

[確認：2016.03.31]

10 この独自分類(ライフスタイル分類)について、CCC(カルチャ・コンビニエンス・クラブ)社長の増田宗昭氏は、インタビューにおいて次のように述べている。

—CCCの独自分類が戻しにくくしているのでは。利用者も探しにくい。

増田；探しにくいっていう人もいるし、発見があるっていう人もいる。

—もし、自治体が「いや、これは探しにくさのデメリットのほうが大きい」となったら.....

増田；それはCCCを採用しない。

——となると分類方法を変える？

増田；いや、変えない。市が俺たちを採用しないってことよ。俺らの持ち味は独自分類だから。

——CCCが指定管理者である以上は、独自分類を続けるということですか？

増田；じゃなければやる意味がない。

「独占直撃 図書館のこと、本のことすべてにぶえよう」『週刊東洋経済』2015年10月31日号, p.53.

11 前掲8)

12 コトバンクからデジタル大辞泉を引用した。

<https://kotobank.jp/word/slow%20life-681748#E3.83.87.E3.82.B8.E3.82.BF.E3.83.AB.E5.A4.A7.E8.BE.9E.E6.B3.89> [確認：2016.03.23]

13 「大ジャンルファッション」では、名辞は「アクセサリー」のみであった。ここれは、名辞は「宝石・アクセサリー」となっている。特に使い分けられているようには見えない。

14 川瀬綾子、北 克一「『ツタヤ図書館』の資料区分を検証する その1 一武雄市図書館、海老名市立図書館の検索・予約システムにおけるジャンル(カテゴリー)指定を手掛かりに」『資料組織化研究-e』No.68, 2016.3, p.1-28.

<http://techer.info> [確認：2016.03.31]

15 次の論文では、この高層書架列について、「例えば高書架を導入した上で、手に取りにくい位置には文学全集等、利用の少ない図書を配架し、「図書館らしい」景観を創ることは、国内外を問わず他の図書館でも行われている。」とし、高層書架の導入は、「国内外を問わず他の図書館でも行われている」と一般的な配架法、サイン計画であるかのような評価をしている。

佐藤 翔「『TSUTAYA 図書館』から考える教育機関としての図書館」『Musa 博物館学芸員課程年報』追手門学院大学, 第30号, p.29, 2016.3. [Researchmap.jp/?action=cv\\_download\\_main&upload\\_id=106147](http://Researchmap.jp/?action=cv_download_main&upload_id=106147) [確認：2016.03.31]

16 なお、2016年4月29日に再度調査をした所、更に多賀城中学校、第二中学校、東豊中学校、高崎中学校が検索対象館として追加されていた。「多賀城市立図書館システム構築業務要求水準書」<sup>16</sup>には小学校図書館、中学校図書館とのシステム連携が示されており、その結果であり、順次検索対象館が増加していくものと思われる。

ただし本文で論述をしたように、学習教材、補助教材については、通常の公立図書館と同様な一般的アクセシビリティの提供は疑問である。

17 多賀城市教育委員会『第二次多賀城市立図書館基本計画 平成26年度～平成32年度』2013年11月22日発表。

[https://www.city.tagajo.miyagi.jp/gakushu/shise/shisaku/kekaku/documents/si-ke-tosyokan\\_kihonkeikaku.pdf](https://www.city.tagajo.miyagi.jp/gakushu/shise/shisaku/kekaku/documents/si-ke-tosyokan_kihonkeikaku.pdf)

[確認：2016.03.31]

なお、同基本計画について、「カット&コピー」疑惑の報道もなされた。

『BJ: Business Journal』2016年3月

[http://biz-journal.jp/2016/03/post\\_14295.html](http://biz-journal.jp/2016/03/post_14295.html)

[確認：2016.03.31]

18 河北新報「<ツタヤ図書館>高め合う学びの場に CCC 図書館カンパニー長・高橋聡氏に聞く」[http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201603/20160320\\_15010.html](http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201603/20160320_15010.html) [確認：2016.03.31]

19 「武雄市図書館の時はド素人でした」海老名市でオープンした2館目のTSUTAYA 図書館は何が違う？ [by] Chika Igaya

投稿日: 2015年09月30日 22時34分 JST 更新: 2015年10月06日 19時05分 JST

[http://www.huffingtonpost.jp/2015/09/30/ebinas-hi-takeoshi\\_n\\_8220202.html](http://www.huffingtonpost.jp/2015/09/30/ebinas-hi-takeoshi_n_8220202.html)

[確認：2016.03.31]

20 Chika Igaya 「3館目の「TSUTAYA 図書館」が多賀城市にオープン 武雄市や海老名市との違いは？」2016年3月20日『HUFF POST Society』[http://www.huffingtonpost.jp/2016/03/20/tagajo-shi\\_n\\_9509504.html](http://www.huffingtonpost.jp/2016/03/20/tagajo-shi_n_9509504.html) [確認：2016.03.31]

21 EV SSL 証明書については、例えば次を参照。

『IT用語辞典 e-Words』

[e-words.jp/w/EV\\_SSL\\_証明書.html](http://e-words.jp/w/EV_SSL_証明書.html)

[確認：2016.03.31]

22 例えば、次を参照されたい。

「海老名市立図書館サイトと EV SSL 証明書に関して雑感」(『能無しの呟き<<土鍋と麦酒と炬燵猫>>) Posted on 2016.02.16 by dullahan <http://donabeneko.jp/20160216211222.html>

[確認：2016.03.31]

なお、武雄市図書館は、現時点では同市のドメインである。

武雄市図書館

<https://www.epochal.city.takeo.lg.jp>

[確認：2016.03.31]

23 端的には、Tカードを選択しなくても結果は同じと言えよう。

24 「[TSUTAYA 図書館] CCC が「P マーク」を

返納、利用者の個人情報はどうなる？」2016年2月12日、by Chika Igaya

『HUFFPOST SOCIETY –社会-』

[http://www.huffingtonpost.jp/2016/02/11/p-mark\\_n\\_9215856.htm](http://www.huffingtonpost.jp/2016/02/11/p-mark_n_9215856.htm)

「【TSUTAYA 図書館】P マーク返納について CCC との一问一答」2016年2月12日、by Chika Igaya 『HUFFPOST SOCIETY –社会-』

[http://www.huffingtonpost.jp/2016/02/10/p-mark\\_n\\_9199624.html](http://www.huffingtonpost.jp/2016/02/10/p-mark_n_9199624.html)

【確認：2016.03.31】

なお、一般社団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)は、ホームページ上でP マーク(プライバシーマーク)について、その概要、目的を次のように解説している。若干、長文になるが大切な事項なので、引用で示す。

#### 概要

プライバシーマーク制度は、日本工業規格

「JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に適合して、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を認定して、その旨を示すプライバシーマークを付与し、事業活動に関してプライバシーマークの使用を認める制度です。

#### 目的

個人情報の保護に関して国の行政機関においては、「行政機関が保有する電子計算機処理に係る個人情報の保護に関する法律」(昭和63年12月法律第95号)が制定されてきましたが、平成15年5月30日に改正(平成15年法律第58号)されました。

一方、民間部門における個人情報の取扱いに関しては、インターネットをはじめとしたネットワーク技術や情報処理技術の進展により、個人情報がネットワーク上でやり取りされコンピュータで大量に処理されている現状において、個人情報保護が強く求められるようになってきました。

そのため、早期に実施が可能であり実効性のある個人情報の保護のための方策の実施が求められてきたところから、財団法人日本情報処理開発協会(現、一般財団法人日本情報経済社会推進協会)では通商産業省(現、経済産業省)の指導を受けて、プライバシーマーク制度を創設して平成10年4月1日より運用を開始しました。

プライバシーマーク制度は、事業者が個人情報の取扱いを適切に行う体制等を整備していることを認定し、その証として“プライバシーマーク”の使用を認める制度で、次の目的を持っています。

消費者の目に見えるプライバシーマークで示すことによって、個人情報の保護に関する消費者の意識の向上を図ること

適切な個人情報の取扱いを推進することによって、消費者の個人情報の保護意識の高まりにこたえ、社会的な信用を得るためのインセンティブを事業者に与えること

その後、平成15年5月30日に民間の事業者を対象とする「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)が制定・公布され、平成17年4月1日から全面的に施行されました。個人情報を取扱う事業者は、この法律に適合することが求められます。

プライバシーマークの付与は、法律の規定を包含するJIS Q 15001に基づいて第三者が客観的に評価する制度であることから、事業者にとっては法律への適合性はもちろんのこと、自主的により高い保護レベルの個人情報保護マネジメントシステムを確立し、運用していることをアピールする有効なツールとして活用することができます。

[http://privacymark.jp/privacy\\_mark/about/outline\\_and\\_purpose.html](http://privacymark.jp/privacy_mark/about/outline_and_purpose.html)

【確認：2016.03.31】

<sup>25</sup> 多賀城市立図書館読書通帳の代金収納事務を委託します。

読書活動推進の取組の多賀城市立図書館(以下「図書館」という。)で発行している「読書通帳」は、図書館利用者で市内の中学生以下のお子さんには無償で、それ以外の図書館利用者には1冊300円で配付しています。

図書館では、平成28年3月21日から指定管理者による管理運営を行っていることから、多賀城市会計規則(昭和58年多賀城市規則第1号。以下、「規則」という。)第33条第1項に基づき、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(多賀城市立図書館指定管理者)に読書通帳売払代金の収納事務を委託しましたので、規則第33条第2項の規定に基づき、お知らせいたします。

<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/gakushu/chiki/shogai/toshokan/dokusyotuyoutyoutaku.html>

[確認：2016.03.31]

『BJ Business Journal』2016.04.06

「ツタヤ図書館、小中学校で実質的な T カード  
勧誘活動を展開…教師は説明受けず憤慨」

[http://biz-journal.jp/2016/04/post\\_14574.html](http://biz-journal.jp/2016/04/post_14574.html)

[確認：2016.03.31]